

No.31
奇数月1日発行



広報さーくる

- 内容
- ・さーくる所長挨拶
 - ・今年の抱負の書き初め
 - ・おしらせ
 - ・企業見学会報告
 - ・ここみんな新春運だめし迷路
 - ・生活困窮者自立支援全国研究交流大会報告

あけましておめでとうございます！



所長
下村 功

皆様、旧年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで、船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくるも開設5年を迎えることができました。

日頃、多種多様な相談が寄せられる中で、さーくるが支援機関として活動できるのは、関係各所の皆様のご協力あればこそと、深く感謝しております。

さて、さーくるでは平成29年度より生活困窮者自立支援事業の任意事業である「家計相談支援事業」を開始いたしました。「家計相談支援事業」では一定の収入はあるもののやりくりが苦手な方などを対象に、収入額と支出額の明確化や債務整理の支援など家計の立て直しの支援を行っております。

また、「生活困窮者自立支援事業による就職面接予約会」や「生活困窮者自立支援事業による企業見学会」を開催いたしました。これらでは、働きたいけれどもなかなかお仕事につながる機会が得られない方々に向け、直接企業から説明を受ける機会や職場を見学する機会を設けさせていただきました。

本年もさーくるでは、日々、相談者の皆様の支援に真摯に取り組み、関係各所の皆様との協力のもと、相談支援にあたって参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



今年の抱負を書き初めました。

さーくる恒例！？



<p>～所長～ 下村 功</p> <p>新</p> <p>新たな気持ちで頑張りたいです。</p>	<p>～相談員～ 木富 友佳里</p> <p>充</p> <p>明るく笑顔で充実した一年にしたいと思います。</p>	<p>～相談員～ 鈴木 由佳</p> <p>健</p> <p>心も体も健やかでありますように。</p>	<p>～相談員～ 渡邊 美津代</p> <p>職</p> <p>皆さんの職探しのお手伝いをさせていただきます。</p>
<p>～相談員～ 嵯峨野 絵理</p> <p>種</p> <p>皆さんの可能性の種を大切にしていきたいです。</p>	<p>～相談員～ 藤井 美由紀</p> <p>報</p> <p>良い知らせがたくさんありますように。</p>	<p>～事務員～ 小栗山 享子</p> <p>挑</p> <p>チャレンジ精神で色々なことに挑戦したいです。</p>	
<p>～相談員～ 松田 祐布子</p> <p>穏</p> <p>一年間心穏やかに過ごしたいです。</p>	<p>～相談員～ 鴻鳥 恵</p> <p>初</p> <p>初心を忘れずに、前進していきたいと思えます。</p>	<p>～事務員～ 花岡 里美</p> <p>誠</p> <p>何事も誠心誠意で頑張ります。</p>	

おしらせ

「おしらせ」へ掲載を希望される団体は、さーくるまでご連絡ください。

講演名	日時	場所	費用	問合せ他
一般向け介護・福祉の就職イベント「PORT」	平成30年1月25日(木) 午前の部：10時00分～12時45分 午後の部：13時45分～16時30分	船橋市民文化創造館きららホール	申し込み不要・入場無料	問合せ： 船橋市役所介護保険課 総務係 電話：047-436-3306 FAX：047-436-3307



12/14（木）に企業見学会を開催。

参加者から好評！

12月14日（木）に企業見学会を開催し、12名の方に参加していただきました。

船橋市、船橋市公共職業安定所、社会福祉法人生活クラブ（さーくる受託法人）が共催し、企業見学にご協力頂ける2社をバスで訪問するツアーを企画しました。

これまで、企業の担当者に面接会場に来ていただき、会社の業務内容の説明をしていましたが、今回は求職者が自分の目で職場の仕事内容を確認し、現場で働いている方の姿を見た上で、応募していただくことを目的としました。



▲株式会社タカヤスのクリーニング工場にて機材の説明を受けました。

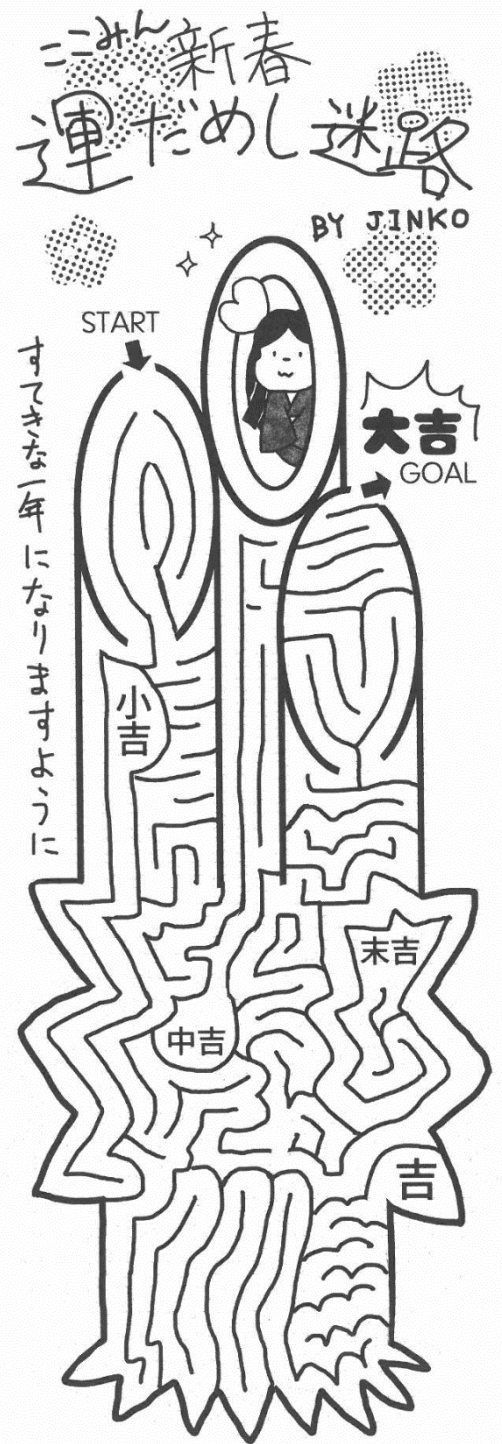


▲株式会社ジェイビーエスの物流倉庫にて、担当者からの丁寧な説明に耳を傾けました。

求職者と一緒にバスで移動する見学会は初めての試みなので、職員も少し緊張していましたが移動中はバス遠足のような和やかな空気で、少しずつリラックスしたところで、現地に到着することができました。

見学会に参加した方から「説明して下さった企業の方が気さくで雰囲気の良い職場だった」、「実際に会社を見学することで、働いている人の雰囲気も分かり、仕事のイメージがつかみやすかった」などの意見が出され、数名の方が真剣に求人への応募を検討されていました。

今後もさーくるは、様々な方に対して、本人の状況に合わせた就労支援と生活支援を積極的に実施して参ります。協力企業を始めとした皆様のご協力に感謝しつつ、これからのさーくるを楽しみにしててください。



第4回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 平成29年11月11日（土）・12日（日）

「人の尊厳に根ざす生活困窮者自立支援で新しい社会保障の展望を共に拓く」に参加！

1日目は高知県立県民文化ホールにて、厚生労働省職員を含む生活困窮者自立支援関係者による、^{きちようていだん}基調鼎談・徹底討論が行われました。印象的だったのは、東京大学名誉教授の^{おおもりわたる}大森彌さんの言葉です。

「自立と依存は対照的な概念ではありません。支える側を支える、あるいは支える側も支えられているというゆるやかな共生関係が、この制度にはあります。」というものです。

人は1人では生きていけません。事業の利用だけではなく、人と人との関わりを続けることがこの制度の根底にあるのだと思いました。

2日目は、高知県立大学にて10の分科会に分かれて各地の取組みを伺いました。「農業分野は、キャリア形成を応援できるか!？」という分科会では、大阪府泉佐野市にある泉佐野アグリカレッジによる就労支援事業の内容を伺いました。

同事業では、泉佐野市と青森県弘前市が連携して、泉佐野市の若年未就業者を弘前市のリンゴ農家や加賀市の梨農家に派遣し、生産体験や加工体験、販路体験などの就労支援を行うとともに、農業現場の人材不足解消につなげることを目的としているとのことでした。

船橋市内では専業農家が約350戸あり、その多くが野菜を中心とした農業で都市型農業です。繁忙期には収穫や梱包の期間限定アルバイトの求人があります。さーくるの就労準備支援事業と農業の連携ができると相互に有益になるのではないかとこの可能性を感じました。

今後は就労支援を広義に捉え、労働や福祉といった分野に振り分けて考えるだけではなく、地域活性に繋がる働きかけを積極的に行っていきたいと考えています。



▲1日目の徹底討論で熱い討論が繰り広げられました。

【発行・編集】

社会福祉法人 生活クラブ ～あなたの尊厳を守ります。～
船橋市委託事業
船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる（circle）
所在地 船橋市湊町2-12-4 湊町十二番館ビル4階 401号室
TEL 047-495-7111 FAX 047-435-7100
HP <http://www.kazenomura.jp> E-MAIL circle@kazenomura.jp



明けましておめでとうございます。今年も我が家の娘にも着物を着せておめかしをしてみました。皆さま、どんな新年を迎えられたでしょうか。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。（K）



編集後記